

令和 5 年 6 月 19 日現在

機関番号：12613

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19K01958

研究課題名(和文) 複雑な品質を扱う組織フィールドの構造変化：真珠における品質基準の変革可能性の検討

研究課題名(英文) Structural changes in organizational fields dealing with complex quality: an examination of the quality standards of Japanese Akoya Pearl in transition

研究代表者

山下 裕子 (YAMASHITA, Yuko)

一橋大学・大学院経営管理研究科・教授

研究者番号：90230432

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、天然資源に依存するラグジュアリー産品の代表である日本の養殖真珠の1世紀余にわたる歴史を踏まえ、大きな市場や環境変化の中での真珠の価値の再定義を模索する品質基準に焦点を定め、種苗から養殖業者、加工業者、小売業者等の多様なプレイヤーの織り成してきた制度変化のメカニズムを明らかにすることである。特に、過去に構築された品質基準と、多様化する市場の様々な品質基準とのはざままで混乱する組織フィールドで、未来にむけた品質定義を可能にする条件の解明を行う。3つの国際学会・ワークショップと、2つのセミナーで報告を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

天然の素材に由来するラグジュアリー産品は絶対的な品質基準の設定は難しく制度的な要件に支えられている。ダイヤモンドに関しては法制度論や法社会学等の領域においてある程度の研究が蓄積されてきたものの、真珠に関しては研究がほとんど蓄積されてこなかった。また供給地の分散化やサステナビリティ重視等の近年の環境の変化による品質認識の変化については研究が必ずしも進んでいない。本研究は、(1)過去の品質基準の撤廃への経緯の整理、(2)アコヤ貝の大量斃死に起因する諸問題、(3)未来の品質についての複数企業の異なるアプローチについてデータを蓄積整理を行い、分析を行ったことでギャップを埋める第一歩となった。

研究成果の概要(英文)：The researcher presented reports at three international conferences/workshops and two seminars and is writing an academic paper based on her conference paper. (1) Case Study of Mikimoto Ainoshiba Pearls (SASE, New York, 6.19.2019), (2) Responses of three production areas to the reddening disease of Akoya pearl oysters (OS Summer Workshop, 5.20.2020), (3) Institutional changes in quality standards in the cultured pearl industry (Kyoto University Seminar on Historical Analysis (7.20.2022), "Species Sustainability and Markets" (2022 Kyoto University Seminar on Business Administration, 10.24.2022), Pathogens and Sustainability (Academy of Management Journal Paper Development Workshop, 4.15.2023).

研究分野：マーケティング

キーワード：アコヤ真珠 品質基準 組織フィールド サステナビリティ

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

天然の素材に由来するラグジュアリー商品は絶対的な品質基準の設定は難しく制度的な要件に支えられている。ダイヤモンドに関しては法制度論や法社会学等の領域において研究が蓄積されてきたものの、真珠に関しては社会科学分野での研究はほとんど蓄積されてこなかった。また供給地の分散化やサステナビリティ重視等の近年の環境の変化による品質認識の変化については研究が必ずしも進んでいない。本研究において、(1)過去の品質基準の撤廃への経緯の整理、(2)アコヤ貝の大量斃死に起因する諸問題の考察、(3)未来の品質についての複数企業の異なるアプローチについて、多種のデータの蓄積整理を行うことで、未着手の研究領域を開拓するとともに、劇的に変化している産業に対しての提言を行うにたる議論のベースを整備したい。

2. 研究の目的

本研究の目的は、真珠産業において過去に構築された品質基準と、多様化する市場の様々な品質基準とのはざままで混乱する組織フィールドで、未来にむけた品質定義を可能にする条件の解明である。具体的には、(1)過去における品質基準の形成と共有のメカニズム：国際市場と日本での真珠取引における品質基準と組織フィールドの長期的分析、(2)現在の品質基準についての評価実験（現在の品質基準についての現状把握）、(3)個別企業の取組としての新しい品質基準の模索（個別のImagined Futures）、(4)業界団体における新品質基準制定のメカニズムの解明を行う(Imagined Futuresについての合成形成の条件の解明)。(4)に関しては、政策提言を含む内容となる。

3. 研究の方法

本研究では、独占体制が崩壊した1990年代以降の時期に焦点を当て、組織フィールドの変化に着目する。特に輸出検査基準による品質基準が失われた後の、クオリティの基準の再構成過程に注目する。台頭するアジア商品に対して相対的な高品質を訴えようとしたものの、結果的に質の劣化を招いていったメカニズムを丹念に追う。

【A 公刊資料に基づく事実の整理】具体的には、1999年の真珠養殖事業法撤廃に至るまでのプロセス、民間の鑑別機関による鑑別書のインパクト、大型の8ミリ玉への生産の集中化と品質劣化・大型貝の利用による環境劣化、真珠振興法制定(2015年)に至るプロセス、真珠振興法に依拠する品質基準制定の可能性について焦点を当てる。

【B 品質評価についての聞き取り調査】真珠では品質基準が定められていないことから品質

別の生産や流通データが存在しないという現状にある。新しく発見された純国産の天然採苗の母貝から作られた真珠についての価値評価について、実際にヴァリューチェーンの各主体がどのような評価を下しており、どのような品質を目指して生産・流通を行っているのか、実態調査を行う。

【C “ Imagined Future(想像された未来) “ についての聞き取り調査】品質基準不在による混乱に対しては、各主体が異なった態度を形成し、独自の対応戦略を取っている。この時に、どのような未来像を描いているのか。各主体の描く “ 想像された未来 ” のギャップを明らかにする。

4. 研究成果

3つの国際学会・ワークショップと、2つのセミナーで報告を行い、コンファレンスペーパーをもとに学術論文を執筆中である。

ミキモト相島真珠の事例研究 (Society for the Advancement of Socio-Economics, New York, 6.19.2019)、 アコヤ貝の赤変病に対する3つの産地の反応 (Organization Studies Summer Workshop, 5.20.2020)、 養殖真珠産業における品質基準の制度的変遷 (2022年度第2回京都大学史的的分析セミナー 7.20.2022)、 「種のサステナビリティと市場」 (2022年度京都大学経営学セミナー 10.24.2022)、 病原体とサステナビリティ (Academy of Management Journal Paper Development Workshop, 4.15.2023)。

前項3. 研究の方法との対応関係で言えば、【A 公開資料に基づく事実の整理】の成果を主として用いたものが 及び 、【B 品質評価についての聞き取り調査】、【C “ Imagined Future(想像された未来) “ についての聞き取り調査】 及び 、となる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 Yuko Yamashita
2. 発表標題 The Sustainability of the Species for Commodified Luxury; the Irreversible Consequences of Different Organizational Reactions in Response to the Akoya Pearl Oyster Extinction Crises
3. 学会等名 Organization Studies Summer Workshop (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yuko Yamashita
2. 発表標題 Investing in the Quality of the Future; Mikimoto's Ainoshiba Pure Breed Pearl Venture Following the 1999 Japanese Akoya Pearl Oyster Extinction Crisis.
3. 学会等名 Society for the Advancement of Socio-Economics (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------